



まちだの新たな学校づくり通信

Machida New Concept School 2040

2026年3月発行

小山田・小山田南地区

- 1 頁 意見交換会
- 2 頁 地域活用型学校
基本計画検討会

ともに学び、ともに育つ学び舎づくりを目指して

【発行】町田市教育委員会

新たな学校づくり意見交換会を開催しました！

学校の統合や新校舎の整備に向け、保護者や地域の方々から気になることや期待することなどを伺い、基本計画検討会における検討課題を整理するため、オープンハウス形式の意見交換会を開催しました。本号では、主なご意見と回答を紹介します。その他の内容は、町田市ホームページに掲載しています。



統合新設小学校意見交換会
(小山田小学校・小山田南小学校)

Q：学校への距離が遠くなる子どもの通学方法が気になります。

A：通学は徒歩を原則とし、通学距離・時間は概ね 2km・30 分以内を目安としています。2km を超える場合は、通学時間が概ね 30 分程度で通学できるよう公共交通機関(路線バス等)を活用します。ただし、公共交通機関による通学が困難な地域(現小山田小学校の該当地区)については、スクールバス・スクールタクシー等の導入を検討しています。



Q：各校で行っている特色ある取り組みを統合後も続けて欲しいです。

A：統合の3年前を目安に、両校の教員がそれぞれの学校の特色ある教育活動を共有・調整します。保護者や地域の方々のご意見を伺いながら、両校の良さを活かした新たな学校の教育課程を編成します。



Q：小山田南小学校の校庭に新校舎を建設している間のグラウンドはどうなりますか。

A：新校舎建設中は、学校生活や学校運営の影響を最小限に抑えられるよう、工事の方法等を慎重に検討します。児童の安全を第一にグラウンドスペースを確保します。



検討を進めていきます！

小山田・小山田南地区小学校新たな学校づくり基本計画検討会

2026 年度から統合対象校の保護者、地域の方、学校運営協力者、教職員の代表で構成する「新たな学校づくり基本計画検討会」を設置します。検討会では、意見交換会でいただいたご意見を参考に、施設整備、通学の安全対策、児童への配慮等について検討します。

		10年前 2025	9年前 2026	8年前 2027	7年前 2028	6年前 2029	5年前 2030	4年前 2031	3年前 2032	2年前 2033	1年前 2034	【統合】 2035	2036
統合に向けた準備・検討		意見交換会	基本計画 検討会	新たな学校づくり基本計画推進協議会									
対象校	小山田南小学校	既存校舎で授業				仮設校舎で授業				新校舎で授業			
	小山田小学校	既存校舎で授業				仮設校舎 建設	既存校舎解体及び新校舎建設				仮設校舎 解体	校庭整地	



新たな学校づくり推進計画では

地域活用型学校（市民生活の拠点づくり）を目指しています！

学校を子どもたちだけの場ではなく、子どもも、大人もともに学び、ともに育つ場にしていきます。これからの学校は、学校教育の場や身近な避難施設としての役割に加え、多様な人々が学校につどい、活動や交流をする「地域の活動拠点」となることを目指しています。

新たに整備する学校は、普通教室などの学校専用エリアと地域開放エリアの動線を分けることで、誰もが安心して利用できるセキュリティを確保します。こうした取り組みを、より分かりやすく伝えるため、「地域活用型学校」と名付け進めています。



どんな学校になるのかな？

教育環境がより良くなるように整備します！



普通教室（小学校）



ラーニングセンター

新たな学校では教室にホワイトボードを設置し、板書だけでなく、教材等の投影ができるようになり、子どもたちはICTを活用した環境で学びます。また、多様な学習活動を展開しやすくするため、教室の面積を可能な限り広い面積で整備します。

さらに、図書や視聴覚教材などの多様なメディアを活用しながら学習できるラーニングセンターを整備します。ラーニングセンターは教育活動の拠点であるだけでなく、放課後活動や地域への学校施設開放でも活用します。

あわせて、学校を支えてくださるボランティアの活動・準備スペースなども整備します。